

# MAILBOX

ジェイアール東日本労働組合  
 水戸地方本部  
 発行者 / 根本 龍太郎  
 編集者 / 教 宣 部

## JR労働者が働きやすい環境づくりと 社会に寄与する労働運動をつくろう!



## 17新春団結旗開きを開催!

1月20日(金)、水戸エクセルのエクセルホールにおいて「2017年水戸地本新春団結旗開き」が開催された。55名参加の下、17新年に向けた戦いを参加者全体で確認し、新年のスタートを祝った。

17年新春団結旗開きは郡司書記長の司会進行で始まり、根本委員長が地本を代表し、「放射能の問題を抱えている地区の組合員への激励、安倍政権の暴走に歯止めをかけるためにも、民進党、社民党への叱咤激励、

JR東日本における労働運動の大同団結と一元化を目指し、組織の強化拡大をしなければならぬ。組織拡大や2017春闘など、私たちが取り巻く課題は山積している。地方本部が先頭に立ち奮闘し、責任を持つ

て邁進する決意である」と、あいさつした。

引き続き、来賓の方々のあいさつでは、始めに、連合茨城和田会長からは、組合活動には様々な局面で最善の総合的判断が求められる。私たちの政治活動の目的は政策・制度の実現である。私たちと推薦議員双方とは日常活動を通じ、お互いがお互いを支え育てていく取組みの継続をお願いする。そしてこの間、茨城の選挙の投票率は横ばいである。職場・地域で投票への呼びかけという運動が必要である。

本年干支が「申から酉」に変わった。「去る者は追わず」ということわざがあるが、組合活動は「去る者は引き止めて、そして獲るものは獲りに行く」という一年にしていく。そして今年も皆としぶとく・しつこく・しなやかに汗をかいていきたいと思っているとあいさつを頂いた。



連合茨城和田会長



《委員長挨拶》

昨年、4月に熊本・大分で地震、8月に台風が東北・北海道を直撃、10月に鳥取で地震、11月に福島・茨城で地震と各地で自然災害が多数発生し大きな爪痕を残した。

改めて、犠牲になられた皆様にご心よりお悔やみを申し上げますと共に被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

政治では昨年の参議院選挙では与党に改選過半数、改憲勢力三分の二超を与えてしまい悔やまれる。TPP、戦争法、年金カット法、カジノ法、労働法制改悪等問題が沢山あり、自民党の強引な国会運営は容認できない。

東日本大震災からの復興はしつつあるが、原発事故で出た放射性物質を含んだゴミ等の仮置き場は、既に飽和状態であり、除染廃棄物は山のように高くつまれば、中間貯蔵施設が完成しないし、なかなか進んでいない状況にあり、東電や政府の対応が後手になっていく。一日も早い復興を願うばかりである。

昨年7月に原ノ町・小高間が開通、12月には相馬・浜吉田間が開通し小高・仙台が繋がった。大変喜ばしいことではあるが、未だに帰宅困難区域が常磐線沿線にはある。11月22日に発生した地震では、津波が観測され、また福島第二原発では、使用済み核燃料プールの冷却装置が約1時間半に渡り自動停止するという事象が発生しました。常磐線全線開通は、皆が願うものであり開通

に向けては労使の垣根を超えて取り組まなければならない。組合は、第一に安全が担保されない限り開通は認められない。水戸支社社員とりわけ、いわき・原ノ町地区の社員から、疑問の声が職場から出ている。お客様・社員が安心して利用し、働くことが出来る環境にする為に会社に申し入れを提出してきた。

JR東日本の第2四半期決算では、単体・連結ともに営業収益は五期連続の増収かつ第2四半期決算としては過去最高になったものの、新幹線大規模改修引当金繰り入れなどに伴い営業費が増加し、全ての利益が減益となり増収減益となった。

お客様は無論のこと、全てのJR関係労働者の死亡事故ゼロ・重大労災事故ゼロの実現とそこに働く労働者にふさわしい賃上げを求めて2017春闘は大幅な賃上げを本部と共に要求し、団結して春闘勝利を目指して闘う。

組織拡大については、長野・横浜地本で加入があった。水戸地本も若い社員に選択される労働組合になるよう皆で努力していかなければならない。

最後に私達は、統一の想いや理念を忘れずに、より高い目標へと前進しなければなりません。JR労働運動の大同団結・一元化を目指し、強く大きい組織へと前進することだと思おう。新たな一歩を踏み出す年にする事を約束し、新年の挨拶とします。

続いて、通常国会の開会日のため出席できなかった郡司参議院副議長秘書からは、昨年の選挙の御礼と副議長への要職に就き中立公正な立場で国会内で活動しているとの報告され、大島衆議院議員、福島衆議院議員の秘書からはメッセージが読み上げられ、社民党茨城県連合副代表の井坂ひたちなか市議からは国会内では問題がある様々な法案が強行採決され、国民の声が反映されない国会になっている。政治の流れを変えるためにも民進党・社民党も頑張ることが求められている。労働条件の向上、とりわけ春闘における労働者の賃上げを勝ち取ることが必要であり日本経済の活性化に繋がる。団結して頑張つてほしいと激励があり、堀江水戸市議からは女性の視点から学校問題、子育て支援、待機児童問題、高齢者の免許証自主返納による補助を取り組んでいる。水戸市では交通機関の整備が先で補助が進んでいないが引き続き取り組む。普通に働いて、普通に生活できる社会づくりを目指した政治をしていくとあいさつを受け、その後も多数の来賓の心強い激励と連帯のあいさつをいただいた。

最後に、生田中央本部書記長からは、春闘について連合は賃金の底上げ、格差是正するためにベア2%の要求、定昇含め4%の要求の方針がされている。2月11日開催の中央委員会で春闘方針・夏季手当の要求方針を確認していく。何が何でもベースアップを勝ち取るためにも中央本部が先頭に立ち皆と共に奮闘する。また、常磐線開通問題は安全を第一にしながら、水戸地本と協議をしながら手を携え、しっかりと本部としても闘っていく所存であるとあいさつをした。



生田本部書記長

その後、エルダー協議会議長の前で懇親会に入った。二部のアトラクションは栗原副執行委員長・坂本執行委員の司会で始まり、景品も分会賞、大竹賞、地方本部から盛り沢山用意された。

各分会代表者からも賞品を当選者に渡した後、今後の運動を進めるにあたっての決意も表明された。抽選時は坂本執行委員の饒舌な進行により、抽選ごとに歓声とため息が聞かれ、名残惜しいなか、最後に根本委員長との団結ガンバローとなり散会となった。一番高価だと思われる賞品(一番大きく運ぶのが大変なため会場に持ち込みしなかった)の執行委員長賞を目録として当選した組合員に渡されました。

主な当選者



地方本部賞



執行委員長賞



書記長賞

来賓の方々

(敬称略)

- ◇連合茨城会長 和田 浩美
- ◇参議院副議長 郡司 彰
- ◇衆議院議員 大島 章宏 (秘書)
- ◇衆議院議員 福島 伸亨 (秘書)

- ◇社民党茨城県連合 井坂 章
- ◇水戸市議会議員 堀江 恵子
- ◇中央ろうきん 菊本 恭市
- ◇鉄道退職者の会 湯澤 忠芳
- ◇交通共済東日本事業本部 松井 正義
- ◇中央本部 生田 俊勝

メッセージ

(敬称略)

- ◇参議院副議長 郡司 彰
- ◇衆議院議員 大島 章宏
- ◇衆議院議員 福島 伸亨
- ◇東日本ユニオン各地方本部

決意表明をする分会代表者



**第4回地方委員会**  
**3月7日(火) 13時〜**  
**日立シビックセンター4F会議室**  
 ※前段10時30分〜  
 共済担当者会議を同場所で開催します。  
 (分会の共済担当者  
 一名は必ず出席して下さい)